

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第11週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が404例あり、先週(605例)の約0.7倍であった。2023年の累積報告数は55,052例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

全数報告の感染症 (11週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。
- 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：つつが虫病 1 例。
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、水痘 (入院例) 1 例、梅毒 6 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	男	結核性胸膜炎	咳、発熱、胸痛、頭痛
			70歳代	女	肺結核	なし
			80歳代	男	結核性腹膜炎	発熱、腹痛
		都城	70歳代	男	結核性胸膜炎	呼吸困難
4類	つつが虫病	日南	60歳代	女	—	頭痛、発熱、右季肋部痛
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	都城	50歳代	男	—	肺炎
	水痘(入院例)	小林	50歳代	男	検査診断例	発熱、発疹、水疱
	梅毒	宮崎市	10歳代	女	早期顕症梅毒 I 期	硬性下疳
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			40歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			40歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
	都城	40歳代	男	無症状病原体保有者	なし	
百日咳	都城	10歳代	女	—	持続する咳、呼吸苦	

定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 740 人(定点当たり 17.9)で、前週比 79%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザと A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

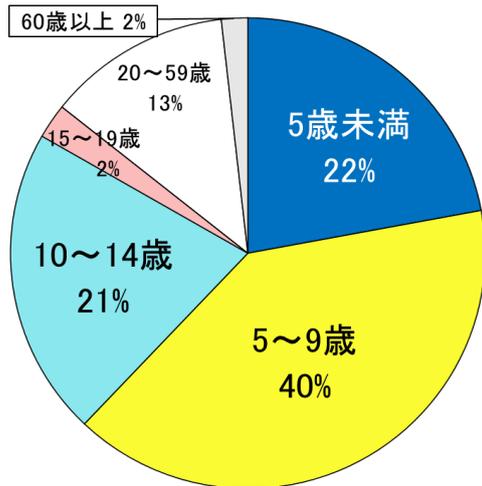
報告数は 335 人(5.8)で、前週比 62%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.4)の約 2.5 倍であった。延岡(12.6)、高鍋(9.0)、日南(6.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は 5 歳から 9 歳が全体の 4 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

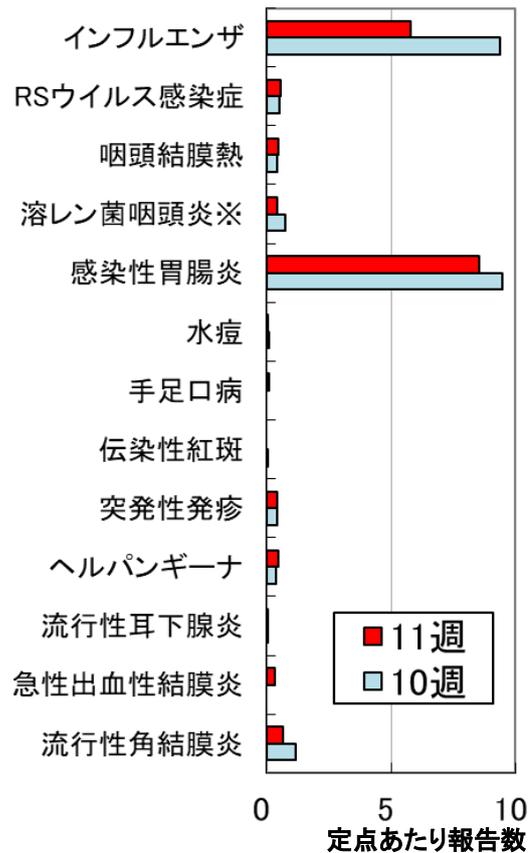
報告数は 308 人(8.6)で、前週比 90%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(7.8)の約 1.1 倍であった。小林(14.0)、都城(10.5)、宮崎市(9.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 4 歳が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

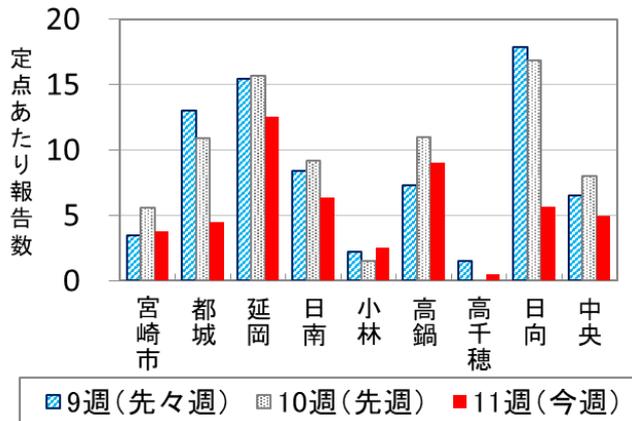
インフルエンザ年齢群別グラフ(第11週)



《前週との比較》

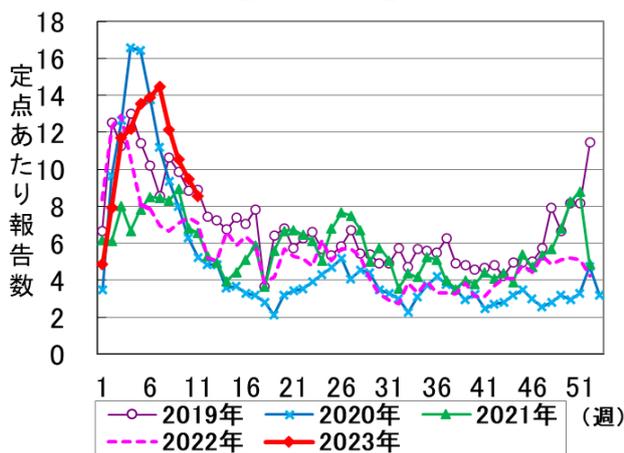


インフルエンザ 保健所別推移(3週分)

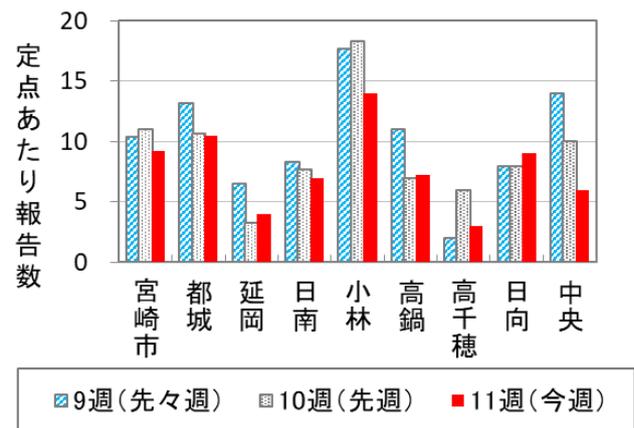


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	インフルエンザ(12.6)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※流行注意報レベル基準値※
・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和5年3月20日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	0～4歳	男	2023.03.03	胃腸炎(出血性下痢、腹痛)	便	2023.03.10

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Influenza virus AH3	5～9歳	男	2023.01.31	インフルエンザA型、39.5℃、上気道炎(咽頭炎)	鼻咽頭ぬぐい液	2023.03.14
Influenza virus AH3	5～9歳	男	2023.02.02	インフルエンザA型、40.0℃、上気道炎(咽頭痛)、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2023.03.14
Influenza virus AH3	10歳代	男	2023.02.13	インフルエンザA型感染症、39.4℃、上気道炎(咽頭炎・咽頭痛)、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2023.03.14

✚ 全国 2023 年第 10 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	234 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	10 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	1 例	サル痘	10 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	デング熱	2 例	レジオネラ症	31 例
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	8 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	29 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例	後天性免疫不全症候群	11 例	ジアルジア症	3 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	19 例	水痘(入院例)	8 例
	梅毒	200 例	播種性クリプトコックス症	5 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	4 例
	百日咳	4 例	麻しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 105%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は特になかった。

インフルエンザの報告数は 54,796 人(11.1)で前週比 109%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.0)の約 2.8 倍であった。岩手県、富山県(26.0)、石川県(25.1)からの報告が多く、年齢群別では 5 歳から 9 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 18,503 人(5.9)で前週比 99%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(4.2)の約 1.4 倍であった。富山県(14.5)、大分県(14.1)、愛媛県(12.0)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 5 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2023年 第11週(03月13日～03月19日)

疾病名		第10週	第11週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	544	335	61	45	88	32	10	54	1	34	10
	定点当り	9.38	5.78	3.81	4.50	12.57	6.40	2.50	9.00	0.50	5.67	5.00
RSウイルス 感染症	報告数	19	20	3	7		5				1	4
	定点当り	0.53	0.56	0.30	1.17	0.00	1.67	0.00	0.00	0.00	0.25	4.00
咽頭結膜熱	報告数	15	17	9		2	1		3		2	
	定点当り	0.42	0.47	0.90	0.00	0.50	0.33	0.00	0.75	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	27	15	5	2		4		2			2
	定点当り	0.75	0.42	0.50	0.33	0.00	1.33	0.00	0.50	0.00	0.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	341	308	92	63	16	21	42	29	3	36	6
	定点当り	9.47	8.56	9.20	10.50	4.00	7.00	14.00	7.25	3.00	9.00	6.00
水痘	報告数	4	2	1	1							
	定点当り	0.11	0.06	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数		3	3								
	定点当り	0.00	0.08	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	16	16	5	4	2	1	2	2			
	定点当り	0.44	0.44	0.50	0.67	0.50	0.33	0.67	0.50	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	14	17	2	1	14						
	定点当り	0.39	0.47	0.20	0.17	3.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1			1						
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数		2	2								
	定点当り	0.00	0.33	0.67	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	4	2	2							
	定点当り	1.17	0.67	0.67	2.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～11週)

2類感染症	結核	24例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	1例	つつが虫病	9例(1)
5類感染症	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例(1)
	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	後天性免疫不全症候群	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	3例
	梅毒	39例(6)	百日咳	3例(1)
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	55052例(404)		

()内は今週届出分、再掲